

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



**おおた8人制バレーボール愛好会の皆さん**  
健康づくり・友愛・親睦を目的に、他業種の方々が集まって結成されたグループです。

## 主な内容

## CONTENTS

■第1回定例会概要、新議員紹介	2～3
■5人の議員が一般質問	6～8
■特別委員会最終報告	9
■委員会審査のあらまし	10～11
■先進地に学ぶ ほか	12
■第2回中学生議会	14～17
■市政懇談会開催、編集後記 ほか	18

**平成29年度当初予算  
雪対策基本条例を可決**

# 第1回定例会

第1回定例会は、2月24日から3月17日までの22日間の会期で行われました。

本会議1日目に、市長職務代理者、久米副市長の市政報告が行われました。また、市当局提出の専決処分報告1件を承認、単行案4件、補正予算案1件を原案可決しました。

本会議2日目に、2月27日付で栗林市長から提出された退職申出に同意しました。

本会議5日目に、市当局提出の条例案14件、単行案9件、平成28年度補正予算案11件、平成29年度当初予算案21件、同補正予算案1件を原案可決したほか、陳情3件のうち2件を採択、1件を継続審査とし、意見書案2件を原案可決しました。

一般質問は、5人の議員が市政全般について、予算質疑は、2人の議員が当初予算について、市当局に質問しました。



本会議第2日目 一般質問

※第1回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。  
 〈市議会トップページ→議会中継（映像アーカイブ）→平成29年第1回定例会 本会議〉

## 条例案

▼大仙市雪対策基本条例の制定について（全会一致で可決）

冬期間でも安全・安心に生活することができるよう、市民、自治会等、事業者及び市の役割や責務を明確にし、協働で雪対策に取り組み意識の醸成を図るために制定されました。

▼大仙市おおたコミュニティプラザ条例の制定について（全会一致で可決）

太田保健センターの施設を、地域住民が活用することができるよう交流施設とするため制定されました。

## 補正予算

▼平成28年度大仙市一般会計補正予算（第9号）（全会一致で可決）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億4115万1千円を追加し、補正後の総額は483億1091万9千円となりました。

主なものは、10路線で生活バスを運行している事業者に対する運行経費の赤字補填分の補助金3302万円、国の事業に採択され、協和小種地区に肉用牛の繁殖施設を整備する農事組合法人に対する補助金1億9320万2千円、高梨小学校のトイレ改修費6283万7千円、大曲南中学校のエレベーター改修費3234万8千円などです。

## 新しく市議会議員になられた2人を紹介

4月9日の市議会議員補欠選挙において、次の方々が当選されました。



たかはし のりひさ  
高橋 徳久

【住所】大曲上大町12-20  
【TEL】62-2016

【党派】だいせんの会  
【委員会】企画産業常任委員会



みうら つねお  
三浦 常男

【住所】花館字下中野29  
【TEL】62-4684

【党派】市民クラブ  
【委員会】建設水道常任委員会

当初予算のここを聞く！

当初予算

▼平成29年度大仙市一般会計予算  
(賛成多数で可決)

平成29年度の一般会計歳入歳出予算の総額はそれぞれ462億2100万円、前年度比6億2670万円、率にして1.4%の増となりました。広域消防本部やかわ舟の里角間川の改築事業などの実施により、前年度に比べ予算増となったものです。

また、国民健康保険事業特別会計など17特別会計予算の総額は172億8674万4千円、市立大曲病院事業会計など3企業会計予算の総額は58億7097万9千円で、これらを合わせた大仙市全体の予算は693億7872万3千円になりました。

【予算質疑】

秩父博樹議員（大地・公明の会）

◇上水道事業会計 配水施設拡張改良費

【質問】昨年の熊本地震で、管路の耐震化の必要性が表面化した。大仙市の現在の耐震化率はどうなっているか。

【久米副市長】上水道事業の全水道管延長296.6kmに対して、耐震化された延長は94.7kmで、耐震化率は31.9%。簡易水道事業の全水道管延長619.8kmに対して、耐震

化された延長は129.1kmで、耐震化率は20.8%。事業の実施においては耐震管を布設しており、平成4年度から17年度にかけては約42kmを布設替えしている。また、平成7年度以降、漏水調査を実施しており、結果を考慮し、計画的な管路更新に努め、耐震性の高い事業を進めている。

◇一般会計 学校生活支援事業費

【質問】児童生徒が減少傾向にある中で、支援が必要な児童生徒が年々増えている。支援が必要な生徒に目が行き届く人員配置や教員、支援員の増員が必要と考えるが。

【教育指導部長】特別支援教育の体制の整備や充実に努めているところだが、必要に応じて年度途中の支援員の増員も視野に入れながら、引き続き特別支援教育体制の充実に努めていく。通級指導教室に係る県費負担教職員の増員については、引き続き県教育委員会に要望していく。

後藤 健議員（大地・公明の会）

◇一般会計 全国500歳野球大会関係費

【質問】なぜ全国大会の主会場が少年野球発祥の地である神岡地域の神岡球場ではなく、大仙市総合公園野球場（大曲球場）なのか。

【生涯学習部長】昨年のプレ大会に参加した選手からは、大曲球場のバツ

クスクリン電光掲示板に、名前が表示されたことに感動したとの感想が多かったことなどから、参加選手の感動と満足度を優先的に考えた。神岡地域の野球関係者も同様の意見であったため、全国大会プロジェクト会議で満場一致により、大曲球場を主会場とした。

◇一般会計 大曲中学校水泳プール改修事業

【質問】改築されるプールには、プールの水を飲料水に活用できる設備を設置するようだが、設置費用と年間の維持管理費はいくらか。

【教育指導部長】プール改修に当たって浄水型プールを提案するものだが、

浄水設備の設置に伴う経費の増加分として1181万円ほど、年間の維持管理費については、一般型プールより5千円ほどの増加を見込んでい

【反対討論】

藤田和久議員（日本共産党）

平成29年度一般会計予算は、地方に厳しい財政運営を押しつける国の地方財政計画に従ったものであること、定員適正化計画に基づく市職員の削減予算であることから、本予算案に反対する。

平成29年度一般会計・特別会計・企業会計予算 (単位：千円)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	46,221,000	1.4%
特別会計	国民健康保険事業	10,592,476 1.1%
	後期高齢者医療	846,937 ▲2.3%
	土地区画整理事業	661,401 ▲18.9%
	学校給食事業	1,039,075 1.3%
	奨学資金	28,755 ▲6.7%
	公共下水道事業	1,736,537 2.2%
	特定環境保全公共下水道事業	801,102 1.2%
	特定地域生活排水処理事業	24,789 0.6%
	農業集落排水事業	1,333,683 1.7%
	スキ一場事業	86,988 24.4%
	太陽光発電事業	121,184 0.04%
財産区(6地区)	13,817 64.5%	
企業会計	市立大曲病院事業	1,014,152 1.7%
	上水道事業	2,841,061 108.5%
	簡易水道事業(※特別会計から移行)	2,015,766 -%
計	69,378,723	2.5%

## 平成29年第1回定例会 議決結果

番 号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分報告について(平成28年度大仙市一般会計補正予算(第7号))	承認
議案第1号	財産の取得について[除雪グレーダ(4.0m級) 3台]	原案可決
議案第2号	財産の取得について[ロータリ除雪車(2.2m級) 1台]	原案可決
議案第3号	財産の取得について[除雪ドーザ(14t級) 1台]	原案可決
議案第4号	財産の取得について[除雪トラック(7t級) 1台]	原案可決
議案第5号	平成28年度大仙市一般会計補正予算(第8号)について	原案可決
議案第6号	大仙市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第7号	大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	大仙市地域自治区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第9号	大仙市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	大仙市家畜導入事業資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	大仙市立太田生活改善センター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	大仙市仙北健康広場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	大仙市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第14号	大仙市低炭素建築物新築等計画認定等手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第15号	大仙市南外特用林産研修施設設置条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第16号	大仙市簡易水道事業基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第17号	大仙市アーカイブズ条例の制定について	原案可決
議案第18号	大仙市雪対策基本条例の制定について	原案可決
議案第19号	大仙市おおたコミュニティプラザ条例の制定について	原案可決
議案第20号	町の区域の変更について	原案可決
議案第21号	市道の路線の認定及び廃止について	原案可決
議案第22号	平成29年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入れについて	原案可決
議案第23号	平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入れについて	原案可決
議案第24号	平成29年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計への繰入れについて	原案可決
議案第25号	平成29年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて	原案可決
議案第26号	平成29年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入れについて	原案可決
議案第27号	平成28年度大仙市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第28号	平成28年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第29号	平成28年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第30号	平成28年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第31号	平成28年度大仙市奨学資金特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第32号	平成28年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第33号	平成28年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第34号	平成28年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第35号	平成28年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第36号	平成28年度大仙市上水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

## 平成29年第1回定例会 議決結果

番 号	件 名	議決結果
議案第37号	平成29年度大仙市一般会計予算	原案可決
議案第38号	平成29年度大仙市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第39号	平成29年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第40号	平成29年度大仙市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第41号	平成29年度大仙市学校給食事業特別会計予算	原案可決
議案第42号	平成29年度大仙市奨学資金特別会計予算	原案可決
議案第43号	平成29年度大仙市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第44号	平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第45号	平成29年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	原案可決
議案第46号	平成29年度大仙市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第47号	平成29年度大仙市スキー場事業特別会計予算	原案可決
議案第48号	平成29年度大仙市太陽光発電事業特別会計予算	原案可決
議案第49号	平成29年度大仙市内小友財産区特別会計予算	原案可決
議案第50号	平成29年度大仙市大川西根財産区特別会計予算	原案可決
議案第51号	平成29年度大仙市荒川財産区特別会計予算	原案可決
議案第52号	平成29年度大仙市峰吉川財産区特別会計予算	原案可決
議案第53号	平成29年度大仙市船岡財産区特別会計予算	原案可決
議案第54号	平成29年度大仙市淀川財産区特別会計予算	原案可決
議案第55号	平成29年度市立大曲病院事業会計予算	原案可決
議案第56号	平成29年度大仙市上水道事業会計予算	原案可決
議案第57号	平成29年度大仙市簡易水道事業会計予算	原案可決
議案第58号	暁橋橋梁補修工事請負契約の締結について	原案可決
議案第59号	財産の取得について [除雪ドーザ(11t級) 2台]	原案可決
議案第60号	平成28年度大仙市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第61号	平成29年度大仙市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
陳情第56号	地域別最低賃金の引き上げと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情	採 択
陳情第57号	共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)法案の国会提出に反対する陳情	継続審査
陳情第58号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する陳情	採 択
意見書案36号	地域別最低賃金の引き上げと全国一律最賃制の実現、中小企業支援の拡充を求める意見書	原案可決
意見書案37号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書	原案可決

### 第1回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

議案等名	議決結果	大地・公明の会										新政会				だいせんの会				共産党	野						
		鎌田正	大山利吉	金谷道男	秩父博樹	後藤健	佐藤育男	石塚 柏	高橋幸晴	富岡喜芳	大野忠夫	本間輝男	千葉 健	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木 隆	小山緑郎	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村 誠	児玉裕一	佐藤文字	藤田和久	佐藤隆盛
議案第37号 平成29年度大仙市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。



だいでんのかい  
佐藤 芳雄 議員

**Q** ご当地ナンバーを  
導入できないか  
**A** クリアすべき課題が多く、  
導入は難しい

**質問** 全国各地で、新たな地域名を表示するナンバープレート、通称「ご当地ナンバー」が導入されているが、世界に名の知れる、大曲の花火」というブランド力を活かして、『大曲』というご当地ナンバーの新規導入を目指すべきと考えるが。

のほか、議会の支持を得た上で当該道府県を経由して、地方運輸局に要望を行う必要がある。

大仙市に登録されている四輪自動車の台数は、平成28年4月1日現在6万9545台で、仙北市、美郷町に登録されている台数と合わせた2市1町の合計は10万8819台となっているが、市民並びに近隣自治体の同意、さらには、県内のバランス等要綱の基準への適合性に県の判断が必要であることを考慮すると、ご当地ナンバー導入はクリアすべき課題が多く、難しい状況にあると考えている。



また、導入手続きについては、当該地域を構成する全ての地方公共団体の合意と、アンケート等の実施による当該地域の住民や自動車ユーザー、関係団体の意向確認



しんせいのかい  
茂木 隆 議員

**Q** 市内小中学校の  
教育ICT化の推進を  
**A** タブレット型パソコンの  
整備充実にも努める

**質問** 学力全国トップ級の本市にタブレット型パソコンを早期に整備し、全国に誇れる教育都市を目指すべきでは。

するAターン就職支援事業を実施する。

**教育長** タブレット型パソコンは、カメラ機能やインターネット活用による多様な情報収集が可能で、学校教育への有用性も大いに期待できる。有効活用に係るモデル校を設置し、平成32年度当初までに、全てタブレット型パソコンに入れ替える整備を進める。

**質問** 移住に関するさまざまな相談を「カ所」ができる「ワンストップ窓口」が必要と考えるが、当局の見解は。

**久米副市長** 引き続き、まちづくり課だいでんライフ促進班を総合窓口とし、相談しやすい環境を整え、各種事業を進めていく。

**女性管理職の登用を**

**移住定住の促進を**

**質問** 少子化・人口減少対策としての移住定住の促進について、より実効性のある対策を講じるべきでは。

**質問** 女性が社会の中で活躍することの重要性は年々高まっており、本市においても環境整備に努めるべきではないか。

**久米副市長** お試し移住体験事業を実施するとともに、移住プロモーション動画を作成し発信することで、市外・県外に広くPRし「大仙ファン」を創出していく。

**久米副市長** 女性職員キャリアデザイン研修を継続し、より積極的な女性管理職の登用を行っていききたい。

また、移住者が空き家を活用した際の補助制度の充実を図り、県外から市内企業への就職希望者に対

※このほか、ふるさと納税の推進、いじめ・不登校児童生徒の実体と対応について質問しました。



日本共産党 藤田 和久 議員

**Q 学校給食費の無償化を  
実現できないか**

**A これまでと同様の対応を  
お願いしたい**

**質問** 学校給食費の無償化を  
現できないものなのか。

**教育長** 学校給食費の無償化ま  
たは一部補助については、学校給  
食法により施設や設備に要する経  
費や運営経費は設置者が負担し、  
それ以外は保護者負担と明記され  
ているので、給食費として食材費  
分を負担していただいている。

子どもたちの教育環境の整備を  
進めることは、少子化対策の一環  
としても重要と認識しており、総  
合的に判断してこれまでと同様の  
対応をお願いしたい。

**所得補償制度  
(米の直接支払交付金)の復活を**

**質問** 平成30年産から米の直接  
支払交付金が廃止される。この制  
度の復活を目指して、他の自治体  
や県などと一体となり政府に要望  
できないか。

**久米副市長** 政府は平成25年12  
月に農政改革を発表し、28年度に  
市全体でおよそ6億8千万円交付  
されている米の直接支払交付金を、  
平成29年度限りで終了することと  
している。

議員ご提案の米の直接支払交付  
金の復活は、米価が低迷する中、  
稲作農家の確実な収入源として定  
着してきたところであるが、国が  
廃止を決定してから3年以上経過  
しており、JAや集荷団体、市長  
会などにおいても、復活に向けた  
国への要望の動きはなく、米の直  
接支払交付金の復活を要望するこ  
とは難しいものと考えている。



大地・公明の会 秩父 博樹 議員

**Q 災害発生時の職員の動きに  
ついて再点検を**

**A 「救援班」を拡充した。  
さらに体制を整えていく**

**質問** 災害発生時の避難所運営  
の流れはどのようになっているか。  
とりわけ、初期期の避難所では、  
地元住民の避難者が大半であるこ  
とから、初期避難者の中から代表  
者を選び、避難所の運営組織を作  
ることになっているが、どのよう  
になっているか。

**久米副市長** 避難所運営の流れ  
については、「避難所開設・運営  
マニュアル」を作成しており、発  
生から3日目までの「初動対応編」  
と、3日を超え避難生活が見込  
まれる場合の「応急復旧編」の構  
成になっている。初動対応編では、  
担当職員が避難所へ参集し、施設  
の点検、施設の開設、受け入れス  
ペースの決定などの準備を行い、  
避難者を受け入れながら状況の把  
握を行い、食料や物資の要請と配  
布を行うこととしている。長期化  
する場合は応急復旧編では、名簿  
の作成後、要望や意見の調整・避  
難所生活のルールづくり等の運営  
を行う避難所運営委員会を組織す  
ることとしている。

避難所運営マニュアルに  
ある災害発生時の職員の動きを再  
度点検し、住民の安全確保を期す  
べきと考えるが。

**質問** 被災者ニーズの把握や他  
の自治体からの応援及びボラン  
ティア等の応援団体の派遣調整等  
を行う「避難所支援班」は、当市  
ではどのように組織され、災害時  
にはどのような動きとなるのか。

**久米副市長** 全国から集まるボ  
ランティアについては、社会福祉  
協議会が中心となり災害ボラン  
ティアセンターを開設し対応する  
こととしており、ボランティアの  
受け付けや、ニーズの調査、マッ  
チング、オリエンテーションなど  
の班を設け、対応にあたることに  
している。

**質問** 避難所運営マニュアルに  
ある災害発生時の職員の動きを再  
度点検し、住民の安全確保を期す  
べきと考えるが。

**久米副市長** 大仙市では見直し  
を行い「救援班」の拡充を図って  
いる。さらに今後、多数の避難所  
を迅速に開設できる体制を整える  
こととしている。今後も見直しを  
行い、災害に強いまちづくりを進  
めていく。



日本共産党 議員  
佐藤 文子

**質問** 公共施設等総合管理計画

は、老朽化を口実に統廃合や譲渡など集約化を進めるもの。実施に当たっては地域住民の要望・意見を尊重し、施設の役割・意義を十分踏まえた上で、随時見直しを

**久米副市長**

30年間という長期にわたる計画であることから、施設に求められるニーズ、老朽化の進み具合、施設の利用実態や必要性・安全性など、毎年度、把握と検証を進めながら、その時々のご共施設を取り巻く環境変化に的確に対応していくため、今回策定の計画において、修正が必要な事項については見直しを実施していく。

受け入れ辞退の現状は

**質問** 介護保険の要支援者への

訪問・通所サービスは、4月から市が実施する総合事業に移行するが、事業の委託先となる介護事業所では、受け入れを辞退するところもあると聞く。現状とその理由を伺う。

Q 公共施設の管理計画は、住民の要望・意見を尊重し、随時見直しを

A 修正等が必要な事項は、見直しを実施する

**健康福祉部長**

4月1日以降、現行相当のサービスを提供できても、市が行う基準緩和サービスに参加しないと答えたのは、訪問型では33事業所中9事業所、通所型では57事業所中19事業者であった。その主な理由は「職員不足」「経営の見込みが立たない」などである。

**質問** 総合事業は今後、利用者

や事業量の増加が考えられ、万全な受入体制を望むが、その見通しは。平成29年度予算での対象人数も併せて伺う。

**健康福祉部長**

平成29年度は訪問型サービス1事業所、通所型サービス1事業所に委託することとしているが、今後利用者数の増加に対応できるよう新たな事業者の育成に取り組む。  
予算は、チェックリストによる事業対象者を含め、訪問型は100人、通所型は72人を見込み、計上した。

# ようこそ 大仙市へ

～平成28年度の行政視察受け入れ状況～

大仙市には毎年、全国各地の議会から行政視察の方々を訪れています。平成28年度は、26団体173人の方々が見学に来られました。

視察の内容で一番多かったのは「小中学校の学力向上の取り組み」で14団体。そのほかでは「花火産業構想」「大曲通町再開発事業」で、それぞれ2団体でした。



## 大仙市を視察した団体

4月	大阪府伊丹市、豊能町
5月	熊本県人吉市、栃木県小山市、茨城県水戸市、愛媛県砥部町
7月	秋田県、群馬県伊勢崎市、北海道岩見沢市、宮城県亘理町、山口県周南市、神奈川県南足柄市、愛知県豊川市、神奈川県秦野市
8月	群馬県高崎市
10月	愛知県東海市、東京都羽村市、岐阜県垂井町、滋賀県彦根市、福島県西会津町、三重県伊賀市
11月	神奈川県小田原市
1月	新潟県長岡市
2月	新潟県柏崎市、埼玉県
3月	青森県青森市



# 公共施設等総合管理計画調査特別委員会 最終報告

公共施設等総合管理計画調査特別委員会（委員長 児玉裕一）は第1回定例会で、これまでの調査・審査の結果について最終報告を行いました。

※これまで報告していない項目について記載しております。

中間報告で報告した項目につきましては、だいせん市議会だより第44号・第46号をご覧ください。

## 第1. 公共施設等総合管理計画全体に係わる事項

市が貸借している土地・建物については、実態を調査のうえ、返還・売却等、適正な処理を今後、考えていただきたい。公共施設等総合管理計画の遂行に当たっては、全職員が、将来の財政難に対する危機感を持って、今後30年間において、検証と見直しに取り組んでいただきたい。

## 第2. ハコモノ施設の種類における事項

**【生活基盤施設】**大曲駅周辺の駐車場については、収容台数と利用状況を把握し、市所有の駐車場が効率的に利用されるよう、調査及び検討することを提言する。市で管理している公園については、維持管理費の少ないものは、地域、集落へ譲渡し、管理費を補助するなりの方策を講じることを、提言する。姫神ハイツについては、利用者が少ないため、将来的には廃止も考慮していただくことを提言する。

**【その他施設】**野球場及びグラウンドゴルフ場については、経費をかけて良好な状態にするものを定めて維持管理し、その他は、集落等の協力により維持できるよう協議及び検討することを提言する。大曲市民ゴルフ場については、市直営から民営へ移行することの検討を始めることを提言する。

## 第3. インフラ資産における事項

道路、橋りょうについては、人口減少により、集落の戸数減少が想定されるが、緊急車両が通過できるような道路等を確保する必要があるため、大仙市公共施設等総合管理計画の遂行に当たっては配慮していただきたい。また、補助事業を利用した道路整備について、模索いただきたい。上水道管渠については、小規模水道組合等及び個人設置の水道は、市民に対する安全・安心な水の供給の観点と平等性から、補助金等の助成について、検討いただきたい。下水道管渠については、浄化施設とともに下水道事業等の健全な経営のため、更なる加入率の向上に努めていただきたい。

## 第4. 計画を進めるに当たっての指摘、要望事項

廃止・更新する施設については、計画遂行のため、十分に時間をかけ、地域の住民に対して説明し、理解が得られるようにしていただきたい。



2月24日、最終報告書を議長へ提出する特別委員会委員

## 企画産業常任委員会

専決処分報告1件、条例案5件、補正予算案2件、当初予算案1件、陳情1件を審査しました。

### ●おたコミュニティプラザの利用は？

**【問】**特に土日及び夜間の利用や受付体制を、今まで使ってきたような状態で使えるようにすべきでは。

**【答】**土日や夜間の管理は、近隣の集落会へ委託し、利用者が混乱しないよう使いやすい体制づくりに努めていく。

### ●移住定住に関し、情報を探しやすくすべき

**【問】**市のホームページに移住定住専門コーナーはあるのか。情報を探しやすいよう具体的に効果が出る取り組みをすべきでは。

**【答】**新たな施策を考えているほか、移住定住に関する総合窓口を設置している。市のホームページにも移住定住に関する専用のコーナーを作成したい。

### ●助成要件の見直しは時期尚早では？

**【問】**これまでの大豆栽培モデル対策事業は、農家からの評価が高かった。経営体の機運を低下させないよう、もう数年継続すべきでは。

**【答】**今後は産地化を確立するため、収量と品質について基準を高く設定しているが、今後の運用については、検討を重ねて農家の理解が得られるよう進めていく。

### ●インバウンドサイクリングコース活用事業は、宿泊につながる取り組みを

**【問】**宿泊施設においても自転車のレンタルを行うなど、宿泊につながるコースの設定、あるいは宿泊施設のホームページからの情報提供も必要ではないか。

**【答】**仙北市、美郷町と連携し、地域住民や宿泊施設の方々とも検討を進め、誘客を図ってまいりたい。



## 総務民生常任委員会

条例案4件、単行案1件、補正予算案5件、当初予算案10件、陳情1件を審査しました。

### ●アーカイブズの存在をどう広める？

**【問】**市民に広く大仙市アーカイブズの存在価値を訴えかけるために、どのような手を打つのか。

**【答】**公文書館については、その意義について、言葉では説明しづらいのが現実である。百聞は一見にしかずで、企画展や常設展示を行い、まず足を運んでいただくことをやっていきたい。



5月3日に開館する大仙市アーカイブズ

### ●半強制的参加とならないか？

**【問】**雪対策基本条例の中に市民の役割、自治会の役割とあるが、結果的に市民に対して、活動に参加することを半強制的に規定しているように感じる。その辺はどう考えているのか。

**【答】**大仙市のまちづくり基本条例の第11条、協働の原則が基本原則となっているが、個人の権利に影響を及ぼすものではなく、けっして強要するものではない。市民自らの意志で参加いただきたい。

### ●農林との関係は？

**【問】**環境交通安全課所管の快適居住環境整備事業は、内容によって、農林関係と分かれて実施するのか。また、窓口はどこになるのか。

**【答】**土地改良区や水利組合が管理する水路以外の農地が市街化され、管理する団体がないものが環境交通安全課となるが、整備の要望があった場合は、農林整備課と共に現地確認し、双方協議の上、担当課を決定する。また、窓口も両課で対応する。

**【問】**この整備事業でできた側溝の管理は。

**【答】**住宅地になって管理者がいなくなる場合は、整備した段階で周辺住民と協議していく。

## 建設水道常任委員会

条例案5件、単行案9件、補正予算案7件、当初予算案8件を審査しました。

### ●予算執行に制約はあるか？

【問】各支所に計上された、道路維持管理費の「市民要望緊急対応分」300万円は、執行に当たって、制約などはあるのか。

【答】制約は特に設けていない。支所によっては、工事費に計上している支所もあれば、修繕費に計上している支所もある。支所の判断で自由に使用していただきたい。

### ●打ち切った後の対応は？

【問】住宅リフォーム支援事業の補助金は平成28年度から、交付決定額が当初予算に到達次第、申請を打ち切りとしているが、打ち切った後に、どのぐらいの申し込みがあったか。

【答】打ち切る際の最後の1日に申し込みが殺到し、そこで当初予算額を超えてしまったが、その超えた分の10件に対しては、予備費を充当して申請を受け付けた。



### ●調査の上、最良の処置を

【問】軟弱な地盤による沈下のためタルミの発生した、仙北地域福田地区農業集落排水区域内の管路の布設替工事をすることだが、管路を設置後にまたタルミのでないよう、きちんと調査をして、最良の処置をしてもらいたい。

【答】沈下した箇所は、以前、付近の橋の架け替え工事の際、現道に盛り土した部分である。盛り土の土質を調査し、どのような工法が適当なのか検討する。現段階では自然流下方式ではなく、多少地盤が沈下しても対応できるポンプ圧送で処置したいと考えている。

## 教育福祉常任委員会

条例案2件、単行案1件、補正予算案2件、当初予算案5件、陳情1件を審査しました。

### ●ほかの地域の状況は？

【問】2月に委員会で、介護予防デイサービスを実施している大曲地域の施設を現地調査したが、ほかの地域にはないのか。

【答】専門職員を配置しての当該事業は、仙北地域の紫陽花館あじさいで実施している。

### ●駐車場の整備を

【問】大曲地域角間川地区の川港親水公園の浜蔵と角間川の旧家群を一体として整備してもらいたいが、現在の浜蔵周辺の駐車場が不便である。今後整備する予定はないか。

【答】自分の土地を活用して欲しいと申し入れる人もおり、具体的に土地の権利関係等調査を始めた。浜蔵も大変貴重な建物で、親水公園側の護岸も含めて県の史跡指定を受けるべく、平成29年度から調査を開始する。指定を受けた場合、利用者等の増加も見込めることから、御三家のエリアも含め駐車場等周辺整備の検討課題が出てくると考えられるので、今後調査を進めてまいりたい。



周辺整備が期待される  
角間川地区の旧家郡エリア

### ●資源としてリサイクルを

【問】学校給食事業特別会計の管理及び運営費の中で廃棄物収集運搬とある。廃棄物は生ゴミのことだと思うが、経費をかけて処分するより資源としてリサイクルし、堆肥などにすることを考えたことはないか。

【答】学校給食総合センターと新設された西部学校給食センターにはコンポストを設置しており、廃棄物を堆肥にして各学校の花壇などに使用してもらっている。太田・仙北・中仙の各給食センターではコンポストを設置していないので、今後資源の再利用を図り経費節減を進めるため検討してまいりたい。



議会基本条例の検証方法を学ぶ



全国的にも珍しい、百貨店融合の市役所庁舎

## 議会改革推進会議の行政視察報告

2月15日から16日まで、栃木県栃木市を訪れ、議会改革の取り組みについて視察を行いました。

現在、全国各地の市議会では、議会基本条例を制定してから4～5年のところが多く、どのようなかたちで条例をチェック、または検証を行っているのかを研修しました。栃木市議会では、条例の条文・条項45項目についての達成状況をA B C評価に分け、議会運営委員会で検討し、Bランク以下に評価された項目はさらに議会運営委員会で検討し、その結果を今後の活動目標とするなどの改善を図っておりました。また、全体の検証・検討結果を議会ホームページや議会だより、議会報告会で広く市民に公表しておりました。

議会改革は永遠に続くテーマです。当市議会においてもマンネリ防止に努め、市民に開かれた議会となるようさらに検討を重ね、改革に努めてまいります。

(委員長 小山緑郎 記)

## 先進地に学ぶ (会派行政視察)

### ◆大地・公明の会 (3/21～23)

- 静岡県伊東市  
(いとう創造大賞の取り組みについて)
- 衆議院第一議員会館  
(財務に関する研修、財務金融委員会の視聴)
- 国土交通省  
(国の空き家対策について)

### ◆新政会・市民クラブ (2/7～8)

- 福島県郡山市  
(全小中学校へのタブレット端末導入について)  
(女性管理職の積極的な登用について)
- 福島県富岡町  
(福島第一原発20km圏内の現状視察)

### (3/30～31)

- 宮城県山元町「山元いちご農園」  
(高設栽培によるイチゴ大規模団地造成について)

### ◆だいせんの会 (3/23～25)

- 国会議事堂  
(金田法務大臣、御法川代議士への陳情ほか)
- 神奈川県「ライフイノベーションセンター」  
(新産業創出に向けた取り組みについて)

## 議会改革を目指して

～タブレット端末の利活用研修～



はじめてタブレットに触れる議員も

議員の政策形成及び立案能力向上を図るため、2月13日、「タブレットパソコンの基本操作研修とペーパーレス会議システムを利用した議会運営について」と題して研修会を行いました。タブレット端末販売会社から講師及びスタッフを派遣していただき、タブレットパソコンの基礎的な操作や、実際の日々の活動における活用について研修しました。

現在、様々な分野においてICT(情報通信技術)の利活用が推進されております。我々議員も時代の潮流に取り残されぬよう、革新的な技術に対する理解を進め、大仙市議会のさらなる改革を推進します。

〔1月〕

- 12日 第2回中学生議会
- 20日 議員説明会  
建設水道常任委員会協議会  
議会改革推進会議

〔2月〕

- 13日 会派代表者会議  
議員全員協議会(当初予算説明会)  
議員研修会
- 15日 議会改革推進会議「行政視察」(～16日)
- 17日 議会運営委員会  
公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 22日 教育福祉常任委員会「所管事務調査」
- 24日 第1回定例会(第1日)  
企画産業・建設水道常任委員会審査  
議員全員協議会  
広報広聴常任委員会

〔3月〕

- 6日 第1回定例会(第2日)  
議会運営委員会
- 7日 第1回定例会(第3日)
- 8日 第1回定例会(第4日)  
公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 9日 各常任委員会審査(建設水道除く)  
企画産業常任委員会協議会
- 10日 各常任委員会審査  
総務民生・建設水道常任委員会協議会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 第1回定例会(第5日)  
総務民生・建設水道常任委員会審査  
議員説明会・議員全員協議会

～市民の声～

少子化が日本全国の問題となり、特に若者の県外流出をいかに食い止めるかについて議論される中で感じることは、若者にとって何が魅力となって都市部へ行こうと思うのか、ということです。

生活と収入を直結して考えるには経験が少ない若者にとって、収入や求職数の多さ以上に、個性の多様性を認め、世間体を気にせず自分の意志で行動する自由への憧れがあるのではないかと思います。若者のそのような気持ちをしっかりと受け止め答えることができるのは、さまざまな文化や生活及び価値観について、身を持って学び経験した大人たちが増えることではないかと感じます。

議員の皆さんは、日本国中のさまざまな土地での研修などで足を運ばれておられますが、市政への取り組みの中に若者視点での魅力も見つけていただき、ぜひ市政へ反映していただけたらと思います。

昔からの大仙市の良さを保ちつつ、柔軟性と多様性を認めた新たな価値を育てる大仙市になることを願っています。

(中仙地域 40代女性)



6月定例会日程のお知らせ

- 5月29日(月) 本会議第1日 (市政報告、議案等上程)
- 6月8日(木) 本会議第2日 (一般質問)
- 9日(金) 本会議第3日 (一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 12日(月) 常任委員会審査
- 13日(火) 常任委員会審査
- 19日(月) 本会議第4日 (委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。  
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費 (1月1日～3月31日)

		件数	金額
予算額			1,050,000円
既支出額		64件	722,590円
今回支出額		26件	163,500円
内訳	弔慰	2件	20,000円
	慶祝	21件	125,000円
	協賛	3件	18,500円
予算残額			163,910円

# 第2回中学生議会を開催

～笑顔と活気あふれるまちづくりを目指し～

平成29年1月12日(木)に、3年ぶりとなる第2回中学生議会が開催されました。

未来を担う市内11校22名の代表者が“議長や議員”となって、まちづくりや教育行政など、生徒に身近なテーマについて質問・提案を行い、最後に「笑顔と活気あふれるまちづくり」に関する決議案の採決を行い、可決されました。



※主な質問内容と参加生徒の感想文を紹介します。(□の部分感想文です)



議長の堀江さんと星宮くん(西仙北中学校)



副議長の中沢さんと黒川さん(平和中学校)

三年に一度の貴重な中学生議会に、議員として参加し、副議長を務めさせていただいたことを誇りに思います。私たちの学校の意見について、市長さんや市当局の方々と話し合いができたということは、大変有意義なことであったと思っています。  
また、議会の間、各中学校の代表全員が集中していました。大仙市のことについて本気で考えていることに強く感動し、自分たちももっと頑張っていこうという気持ちになりました。

【企画部長】本市の知名度向上を目的としたプロモーション動画を地域の皆さんと一緒に作って作成していくほか、市のホームページや各種イベントにおけるPRなどを通じて、市外・県外にも広く大仙市の魅力をPRしていくことで「大仙ファン」を増やし、移住・定住の促進を図ります。

【質問】若者定着に向けた市の取組を、若者に届ける方法について教えてください。



黒川梨々花さん



中沢宏保くん

平和中学校

中学生議会ではとても貴重な体験をすることができました。実際の議会と同じ場所で、同様の進行で行われたため、場の雰囲気慣れず緊張しましたが、その張り詰めた緊張感の中、市長さんをはじめ、市当局の方々が私たちの質問に真剣に答弁をしてくださいました。  
自分たちの住む大仙市について、多くの中学生や議会関係の方々との意見を交流できたことは、本当に良い経験になりました。

【企画部長】「ヒカリオLIVEイベント」や「大仙市秋の稔りフェア」などのステージ発表など、今後も若者が参加し集まるイベントを官民間問わず実施していただき、駅前の賑わい創出につなげていきたいと考えています。

【質問】大曲ヒカリオを若者が活用しやすい工夫をすることで、駅前が活気づくのではないのでしょうか。



小原貴之くん



柴田大和くん

大曲中学校

大曲西中学校



小松怜さん



三浦太陽くん

【質問】大仙市の花「コスモス」を活用した緑化推進はできないでしょうか。

【農林部長】南外地域の国道105号線で、地域住民が道路の路肩部分に1・3kmに渡ってコスモスを植え、また、花壇や休耕田を活用して花の植栽をしている市内139組織のうち、9組織でコスモスを植えています。今後は、広く市民や各種団体に呼びかけて、多くの場所で植えていただくよう積極的に取り組んでいきます。

今回、中学生議会に参加して、これからの大仙市に何が必要かを他校の生徒、市議会の方々と考えることができ、とても貴重な体験をさせていただきました。私たちは未来の大仙市の担い手です。今回の議会が出た案の中から、自分たちが協力できるものは積極的に行っていきたいと思っています。より大仙市に興味を持ち、緑豊かで活気あふれる市をこれからも守っていききたいと思っています。そしてより住みよ

い大仙市を創っていききたいと思っています。

大曲南中学校



佐々木愛香さん



最上純聖くん

【質問】環境保護対策として、ゴーヤを利用した「緑のカートンプロジェクト」などの取組を、大仙市一斉でできないでしょうか。

【市民部長】大仙市一斉の緑のカートンプロジェクトの実施は、各家庭の立地条件によっては実施が困難な場合もありますので、緑のカートンのほかライトダウンキャンペーンなど、さまざまな取り組みを広報等で紹介し、その中から最も取り組みやすい節電対策を選択し、実行していただく手法がより有効と考えています。

本会議場内は今まで経験したことがない緊張感があり、背筋がピンとしました。その中で一言に対する責任は重く、大仙市を変える力があるということも知りました。

質問の環境保護対策については、市有地を活用したメガソーラー発電事業や緑のカートンのほかライトダウンキャンペーン

など様々な対策を教えていただきました。しかし、一番の環境保護対策は一人一人の意識を高めることが大切だと思いました。これからは大仙市の対策にも中学生として積極的に協力していきたいです。

中仙中学校



鈴木太陽くん



藤田愛心さん

【質問】私たち中学生が正式メンバーとして活動できる、中学生参加型のボランティア団体の育成を検討してみたいでしょうか。

【健康福祉部長】皆さんがボランティアに積極的に取り組もうとする姿勢は、地域に住む方々にとっては、とても心強いことだと思います。先生方からのアドバイスを受けながら、どのようにボランティアと関わり、活動を行っていくのか、皆さんも参加して学校の方針を決めていただいた上で、市としてできる限りの支援を検討します。

大仙市中学生議会に中仙中学校の代表として参加して、大仙市の現状と今後について深く考えることができました。今回の議会で提案したボラン

ティアについてはもちろん、ほかの学校から提案されたことについても、学校で話し合っていきたいです。そして、大仙市が活性化するような取組を積極的に行っていきたいです。市長さんから「未来の大仙市を創る素晴らしい担い手となることを期待しています」と言っていたいただきました。この言葉を忘れず、今後、生徒会活動等、あらゆる活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。



真剣に意見や提案をする中学生議員

豊成中学校



後松凜さん



高橋和久くん

【質問】多くの人が歴史や文化に触れることができるように施設を整備することを提案します。

【生涯学習部長】文化財の所有者は市・個人・神社仏閣とさまざまです。迷わずに行けるように案内板や誘導標識の整備が必要ですので、計画的に整備を進めていきます。文化財は地域の宝であり、ふるさと学習の柱となるものですので、これからも、文化財の環境整備と発信に努めていきます。

今回の中学生議会では、たくさんの方の意見を学ぶことができました。私たち豊成中学校の質問は「大仙市の文化財PRについて」です。今ある文化財をより多くの人に知ってもらい、見学者が増えるように、私たちなりに考えたことを提案しました。私たちの住む豊川地域には秋田県唯一の国宝があり、昨年四月には縄文時代後期のもものと言われる伝次郎塚遺跡が発見されました。この町でPRできることがさらに増えたと思います。

三年に一度の中学生議会に参加できたことも何かの縁だと思っています。大仙市にまた戻って来たいと思えるような町づくり、私たちが携わっていくことで、もっと活発な大仙市になると思っています。

協和中学校



茂木顕光くん



武藤隆晏くん

【質問】一人暮らしの高齢者が住む団地のような施設をつくり老後を安心して暮らせるように、市の公営住宅をバリアフリーに改築して、活用していくことを提案します。

【建設部長】市には高齢者向け住宅が3団地68戸ありますが、今後は、バリアフリーが進んでいない公営住宅は改修を行い、新たに公営住宅を建設する場合は、バリアフリーはもちろんのこと、高齢者や子育て世帯、若者世帯など、さまざまな世代が安心して暮らせるような公営住宅を目指します。

三年に一度しかない大仙市中学生議会に参加できたことは、私たちにとって貴重な体験となりました。

今回の体験を通して、自分の発言に責任をもち、相手に分かりやすく伝えることの大切さを改めて実感することができました。このことはこれからの学校生活や社会に出てからも生かせることだと思います。

大仙市をよりよい地域にしようと多くの方が様々なことを考え、取り組んでいることへの感謝の気持ちをもち、私たち中学生が大仙市の一員として何ができるか、何をすべきかを真剣に考え、今できることを精一杯行っていきたいです。

南外中学校



小松凜央くん



伊藤紗楽さん

【質問】中学生がこれまで以上に防災意識を高めるための、具体的な施策について教えてください。

【教育指導部長】「避難所開設訓練」をこれまで4中学校で実施していますが、平成35年までに全ての中学校で実施する予定です。また、学校独自の「避難所開設訓練」を実施しているところもあり、訓練を実施する学校が増えることで、より一層の防災意識の高まりが期待できます。



「笑顔と活気あふれるまちづくり」に関する決議案を提案

今回、大仙市中学生議会に参加して、緊迫した雰囲気の中での発表は緊張しましたが、とても貴重な体験をすることができました。

決議案を読むときには、ほかの学校の質問を思い出しながら、大仙市がよりよい方向に向かって進んでいくように願いを込めました。

今回の中学生議会は、いつもとは違った視点から、自分たちが住む地域を見直すきっかけになりました。



仙北中学校



後藤波瑠くん



草薨夏輝さん

【質問】大曲の花火会場から比較的近い旧池田氏庭園や払田の柵などを有効活用し、1年を通して観光客に来ていただける花火パークの整備を提案します。

【健康福祉部長】花火と文化財を関連させるところに目を向けてくださったことに感謝します。ご提案の花火パークの構想ですが、必要性についてはよく理解できましたので、今後の大仙市の計画に活かしていけるように考えていきます。

初めて中学生議会に参加し、大仙市に直接意見や質問できるという貴重な体験をさせていただきました。

ほかの中学校の提案を聞いてみると、課題を解消するために新しい設備や企画を用意するものも、今のほかに、今あるものをもっと有効に活用するという発想のものも多くありました。このことから、問題を解決する方法は、新しいものをつくって対応することだけではないのだと、新たな学びを得ることができ

きました。この中学生議会を通して、自分たちのまちの課題だけでなく、良さも改めて認識することができました。

太田中学校



高橋月乃さん



高貝ここあさん

【質問】合併前の8市町村の特産物を集め、その全てを生かしたさまざまなレシピを若者たちの柔軟な発想で開発して商品化することを提案します。

【経済産業部長】現在市内では、中学生・高校生による商品開発の積極的な取り組みが行われています。地域の特産物を使った商品開発に自発的に取り組んでいただくことは、開発に興味を持つ若者の増加と開発力の底上げ、本市の活性化にもつながると考えています。

中学生議会参加にあたり、質問内容についての情報を得るため、市のホームページをじっくり閲覧しました。そこで市長さんをはじめ市議会議員の方々が中心となり、住みよい街づくりのためにさまざまな取組をしていることが分かりました。

大人との真剣なやりとりは緊張しましたが、市民の一員として中学生にもできることがあることを知りました。

西仙北中学校



星宮大翔くん



堀江歩珠さん

【質問】西仙北地域に設置される大仙市公文書館のアーカイブズ資料の項目に「学校」を入れることを提案します。

【総務部長】学校資料は、地域社会の貴重な歴史資料となるものがあるかもしれませんが、大仙市アーカイブズにおける「学校」に関する資料についても保存・公開ができるよう、今後関係機関と連携し、検討してまいります。

今回私たちは、急ぎよ代役として中学生議会に参加しました。議長という立場での参加で、最初はとても不安でしたが、周りの方々からたくさん励ましの言葉をかけていただき、リラックスし、そして楽しみながら議会に臨むことができました。

議会では来年度オープンする「大仙市アーカイブズ」について質問しました。旧双葉小が活

用されるということで、大変興味がありました。質問に対して、市長さんや総務部長さんから回答していただき、うれしくなりました。また、各中学校の質問から、大仙市の現状や課題、その解決策を詳しく知ることができ、自分たちもこの大仙市をもっとよくしていきたいと強く思うようになりました。

議長という役割を大きなミスすることなく無事務めることができてよかったです。また、このような貴重な経験ができて、本当によかったと思います。



決議案を採決、全員の起立賛成で可決

# 市政懇談会を開催します

市民の皆さまと自由に意見交換する市政懇談会を、次の日程で開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日	場 所	時 間
6月26日(月)	南外コミュニティセンター(南外字下袋218)	午前10時～
	はびねす大仙(幸町2-70)	午後1時30分～
6月27日(火)	大川西根公民館(大曲西根字小館10)	午前10時～
	藤木公民館(藤木字乙本藤木8)	午後1時30分～
6月28日(水)	神岡福祉センター(神宮寺字蓮沼17)	午前10時～
	中仙農村環境改善センター(北長野字茶畑141)	午後1時30分～
6月29日(木)	西仙北支所(刈和野字本町5)	午前10時～
	協和支所(協和境字野田4)	午後1時30分～
6月30日(金)	太田文化プラザ(太田町太田字新田尻3-4)	午前10時～
	仙北支所(高梨字田茂木10)	午後1時30分～

※日程については変更になる場合があります。変更についてはチラシ等でお知らせします。



昨年開催された市政懇談会  
(中仙地域)

**【お問い合わせ】**  
議会事務局  
TEL 63-1111(内線303)

## 大仙市の歴史巡り (大曲地域)

### 羽州街道と戊辰戦争

羽州街道は、江戸時代に秋田藩が参勤交代で通行した街道です。大曲の市街地の羽州街道は、殿様の宿泊された本陣を中心に南側と北側に鍵字に曲がったところがあります。これは本陣を防御するため、曲がった地点は現在の小池種苗店の角とタカヤナギ・グランマート中通店の角になります。

慶応4年(明治元年)8月から9月まで角館、大曲、神岡、刈和野は戊辰戦争の戦場でした。あの会津の鶴ヶ城の戦闘と同じ時期に重なります。8月13日から角間川、追分、花館で激しい戦闘があり、花館では夜戦のため、長福寺を焼失しております。

奥羽越列藩同盟軍(庄内藩、仙台藩が主力)は総勢2,000人で大川寺に本営を構え、新政府軍(薩摩藩、秋田藩が主力)は軍勢3,800人で神宮寺を本営とし、両軍は玉川の岸で対峙しました。その後、庄内藩の兵備が優れていたこともあってか、新政府軍は退却を続け、神宮寺、刈和野、境、淀川と9月14日まで羽州街道を転戦しております。

両軍は仙北の農民から食料を徴用し、農民は農兵(主に運搬作業など)として駆り出され、仙北の農民は大変に疲弊したと当時の記録に残っております。

(石塚 柏 記)



オレンジ色が旧羽州街道



## 編集後記

観桜会の後には、本格的な農繁期が訪れます。農家の1年の始まりです。

新年度スタートと同時に新しい知事、大仙市長、補欠選挙で2人の議員が決まり、4月19日には老松新市長による臨時議会が開かれ、諸議案が議決されました。

先般は、日本では滋賀県大津市以来二度目となる、第16回国際花火シンポジウムが本市を会場に、世界30カ国からの参加の下、4月24日～29日までの6日間の日程で盛大に開催されました。

そして7月15日～17日までの3日間、初めての全国500歳野球大会が開催されます。「親父たちの甲子園」の合い言葉で、全国各地から出場していただくことになっております。

また、本年も6月26日～30日までの日程で、各地域を訪問させていただきますので、市政懇談会を予定しておりますので、市民の皆さまのご参加をお待ちしております。

(大山利吉 記)

### 広報広聴常任委員会

- 委員長 石塚 柏
- 副委員長 小山 緑郎
- 委員 秩父 博樹
- 委員 佐藤 育男
- 委員 佐藤 文子
- 委員 橋村 誠
- 委員 高橋 幸晴
- 委員 小松 栄治
- 委員 渡邊 秀俊
- 委員 大山 利吉

